

# 明日に 向かって



明日に向かって  
多治見陶都ライオンズクラブ  
広 報 誌

1996

Vol.

5



第3回環境問題作文コンクール表彰式

第3回 環境作文コンクール表彰式 (平成7年11月24日)



TAJIMI TOHTO LIONS CLUB

# 何事にも 時間厳守!!



第73回例会 7月14日 会長引継ぎバッジ授与 前会長ご苦労様でした。新会長宜しくお祈いします。

## 過去・未来

会長 L.小芝 邦章

私が役をお引受してから早いもので6ヵ月が過ぎました。

6ヵ月なんて何もしなくても、足早に過ぎ去る月日だとは思いますが、前年よりの継続事業であります環境問題作文コンクール、深山の森への植栽、笠原町のこたばの教室への奉仕活動、多治見市のさわらび学級への奉仕活動等、多くの活動に汗を流していただきました。

また、本年度はじめての奉仕活動であります、土岐川の清掃—多治見ボーイスカウト協議会へ協賛しての—短い時間ではありましたが、少しは川もきれいになったか、との思いが残ったことと思います。

さて、近年日本のライオンズクラブも、いろんな面で改革されようとしておりますが、なかなか改革案が実現に向きません。リジョンチェアマンの件、第3副会長の件など、検討する問題は多くあると思いますが、上層部での話し合いのみとなり、なかなかクラブ単位まで降りてこないのが実情です。一般会員まで話しが伝わらぬ面が多くあると思いますが、できるだけ多くの情報をクラブ内にながして、討論できれば良いのにも思っています。

たかがライオンズじゃないか、そんな小難しいことは抜きにして楽しい会合にしようよ、といった気持ちもわかりますが、さぞライオンズです。

まだ半年あります。奉仕活動も予定として入っておりますし、例会もチャーターナイト記念例会、土岐織部LC、瑞浪桔梗LCとの合同例会、一泊研修例会など移動例会が多くあります。

精一杯努めますので、より一層のご指導、ご支援を心よりお願い申し上げます。



第75例会 8月12日 多治見・陶都LC合同 納涼例会 於：市民プラザ



土岐川清掃 9月23日 多数のクラブ員参加のもとにボーイスカウト多治見協議会の子供達と共に土岐川のゴミ拾いに汗を流した。

## 土岐川清掃奉仕活動

公衆安全委員長 L.加藤 幸司

平成7年9月23日に土岐川河川敷の清掃奉仕活動を実施。ボーイスカウト協賛により約250名の参加者により清掃活動の実行となる。

当日午後8時40分より午後11時まで土岐川河川敷のごみ拾い及び橋の清掃。各個人でゴミ袋を持って、燃えるゴミと燃えないゴミとを分けて拾う。

清掃活動の目的として地域に対しての労働奉仕地域団体との密接度を高め、又各自が積極的に奉仕活動に参加することを目的とした。結果として当クラブ総員51名中31名の参加。又、ボーイスカウト協賛により参加者約250名の奉仕活動となって、約3トンのごみを収集することができた。

次回再び奉仕活動の実行となったときには、是非当クラブ全員参加で奉仕活動が出来ますことを願っています。最後に当日参加して下さった皆様、本当に御苦労様でした。

### 第3回 環境問題作文コンクール

保健環境保全委員長 L. 浅井 剛

第3回環境問題作文コンクールも今回、多治見・笠原各中学校より5校182名の応募をいただきました。5月からの原稿依頼に始まり、9月には原稿整理、小冊子校正、各賞選考、記念品選定、などを経て11月第2回例会の表彰式をもって無事終了することができました。本当にありがとうございました。

さて、今回の作品は生徒諸君が、環境問題に意欲的に取り組んでいただけた成果と感謝いたしております。

特に、「いまのままではいかん。何かをしなれば。」でも何をしたらいいのか分からない。でも何かをしなれば。自分達に何ができるのだろうか。空カンを拾おう。掃除をしよう。ゴミを捨てないようにしよう。山に木がないので植えよう。など。

生徒達がアクションを起こしてくれたことが大きな成果だと思います。これからも私達の運動として、環境問題を継続していくべきだと思います。

今、東濃地区に新しい核廃棄物の処理問題が発生しようとしております。

私達大人がどのような行動を起こすのか、子供達の注目の的だと思います。

未来の子供達に美しい地球を遺産として残せるよう。



第82回例会 11月24日 受賞された皆さん

### 多治見市植樹祭

保健環境保全委員会 担当理事 L. 中山 秀 司

平成7年10月8日 大藪町「深山の森」で『多治見市植樹祭』が西寺市長を始めとして地元関係者、陶都ライオンズ、ボーイスカウト、その他一般の人、約1000人が参加して開かれました。

シトシト降る雨の中、苗木のヤエザクラ、ケヤキ、キンモクセイなど植えたり、自然の中のスタンプラリー、工作教室、ウナギのつかみどり、トン汁のサービス等のイベントに人々の歓声が上がっていました。



平成7年10月8日  
多治見市植樹祭にて目録を西寺多治見市長に贈呈  
環境保護をメインテーマにする当クラブが毎年参加している。



小芝会長による植樹

### 委員会中間報告

教育社会福祉委員長 L. 亀 山 修

新年度例会に於いて発表しました事業計画の内、教育社会福祉施設への寄付について報告致します。

今年度は笠原町の「ことばの学級」へ5万円相当の玩具及び収納用備品を、多治見市の「さわらび学級」へ10万円相当の運動器具を贈呈することとし、10月9日に笠原町、12月20日に多治見市の各施設を、会長・幹事・PRのL.吉川と共に訪問し、贈呈式を行なって参りました。笠原町では親の会の代表の方、多治見市では多数の生徒達も各教育関係の方々と共に出席され、どちらの施設でもたいそう喜んでいただけたことと自負しております。

「ことばの学級」とは正式には障害児通園事業と申しまして、言葉の発育が多少遅れている就学前の児童を対象としてその発育を促す教育をしているとの事でした。

このような施設の存在すら知らなかった私にとって、障害児の教育に尽力されている関係者の方々とお会いし、お話しを聞いた事は有意義な事でした。

「さわらび学級」についてはある程度の子供知識をもっておりましたが、関係者のお話をうかがい大変な仕事だなと感じると共に、施設充実の為の寄付もいいが、問題の原点である不登校生徒が何故現われてくるのか、このような施設が不要な社会に出来ないだろうか。そのため我々に出来る事はないのだろうか？ 等といろいろ考えさせられました。

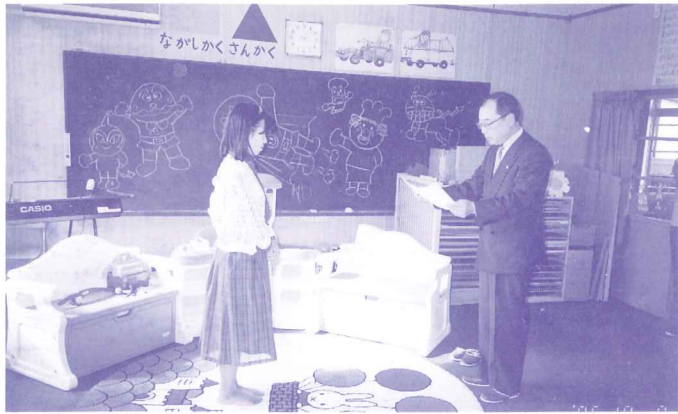
3月卒業シーズンには昨年同様、9年間皆出席者の表彰を計画しております。その際には多数の会員の方々にご協力をいただかなければなりませんので、宜しくお願い致します。



「さわらび学級」への目録贈呈式 12月20日



バスケットポスト寄贈 12月20日



10月9日 笠原東保育園、障害児通園事業に遊具寄贈  
一人でも多く「ことばの教室」を卒業できることを願って



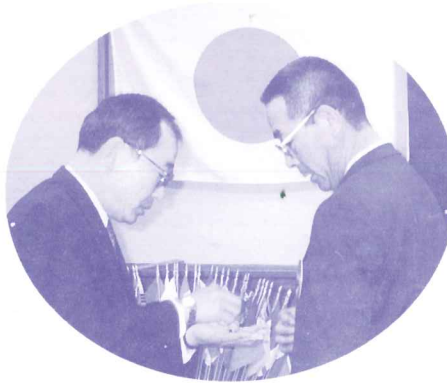
12月22日 忘年会 食べた！飲んだ！の忘年会でした  
於：木曾路

## 新入会員紹介

バッジと希望を胸につけ…



L. 前田 重宏  
平成7年10月13日 入会



L. 伊藤 啓治  
平成8年1月12日 入会



L. 大嶽 利彰  
平成8年1月12日 入会



L. 兼松 伸一  
平成8年1月12日 入会



L. 山口 憲司  
平成8年1月12日 入会



L. 山田 勝之  
平成8年1月12日 入会